

登録コード	E2124900	開講年度	2026			
授業科目	外国史演習				担当教員	野口 舞子
英文授業名	Seminar of the Foreign History II				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	教育M306	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			・前近代における様々な人やモノの移動・交流に関する検討から、現代社会のあり方を相対化して捉える思考を養う（達成目標）。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			・歴史の史資料の分析を通じて歴史学の手法を学び、歴史教育を実践するための表現力を身につける（達成目標）。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	中近世の地中海世界における旅や移動、交流に関して理解を深めた後、中世のイスラーム教徒によって書かれた旅行記『イブン・ジュバイルの旅行記』（翻訳）を精読し、地中海世界の状況に対する理解を深めるとともに、歴史資料から分析するという歴史学の手法を学ぶ。授業は報告とそれに対する討論という形で進める。					
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション（文献の決定、分担、報告方法の確認など） 第2回：イスラームにおける旅と旅行記 第3回：イスラーム史に関する基本文献の検索と実践 第4回：文献報告：中世の旅と移動 イスラーム世界 第5回：文献報告：中世の旅と移動 ヨーロッパ 第6回：文献報告：近世の旅と移動 イスラーム世界 第7回：文献報告：近世の旅と移動 ヨーロッパ 第8回：文献講読と報告：イブン・ジュバイルの旅行記 エジプト 第9回：文献講読と報告：イブン・ジュバイルの旅行記 メッカ・メディナ 第10回：文献講読と報告：イブン・ジュバイルの旅行記 東地中海地域 第11回：文献講読と報告：イブン・ジュバイルの旅行記 十字軍国家 第12回：文献講読と報告：イブン・ジュバイルの旅行記 シチリア 第13回：文献報告：イブン・ジュバイルと旅行記に関する研究動向の分析 第14回：全体討論、授業アンケート 教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等に対応する。					
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標 の到達度を測る討論での発言 30点 ・授業の達成目標 の到達度を測るプレゼンテーション 40点 ・授業の達成目標 の到達度を測るレポート 30点 ・得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	・レポートの評価基準は以下の通り。 (i) 問題の設定が適切である。(ii)問題について先行研究をよく調べて言及している。(iii)レポートの形式が適切である。(iv)の既存の学説が提示する解決法を適切に把握し、問題点や限界を指摘している。 (v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目まで満たしていれば「やや上にある」。3項目まで満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・事前学習：各回に割り当てられた文献を精読する。また、知らない用語や歴史的背景などについて調べておくとともに、自分が議論したい点を考察しておく。 ・事後学習：授業内で提示した参考文献を読み、理解を深める。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・授業内の討論において発言や質問するなど、意欲的に授業に参加することが望まれる。 ・資料の配布、授業の振り返り、レポート提出等で適宜eALPSを利用する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワー：M315研究室、平日在室時は随時。 ・連絡先：noguchi_maiko@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	・原則として使用しない。資料を配布する。					
【参考文献】	・適宜指示する。					